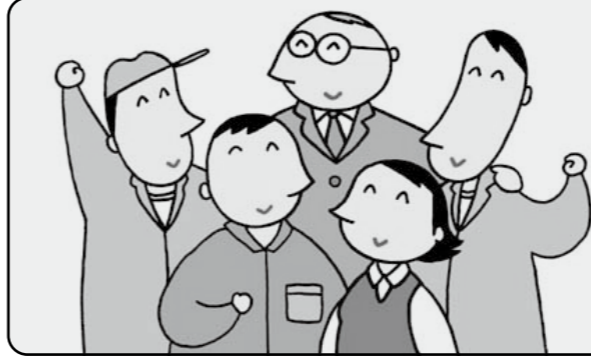


障害のある人の「働きたい」を応援します。



働きたい!でも…
悩んでいないで、
「就労移行支援事業」を活用しませんか?
就労移行支援事業所は、
就職に向けた準備を行うところです。

Q4 どんな人が利用できるの?

A4 就職を希望する65歳未満の障害のある人で、訓練や支援することで、就職が見込まれる人です。例えば…

- ① 養護学校を卒業予定で、仕事に必要な体力や準備が不足しているため、これらを身につけたい人
- ② 就職していたが、仕事の指示が理解できなかったり、人間関係が苦手で辞めたので、再度、訓練を受けて自分に合った職場で働きたい人
- ③ 施設通所しているが、就職にチャレンジしたいので、必要なマナーや面接の仕方などをいろいろな職場実習を通じて身につけたい人

Q5 市内に事業所はあるの?

A5 田川市内では、「ウイング」(弓削田)、「千樹の森」(奈良)、「アドバンスセンター」(川宮)、「田川学園」(夏吉・2月開始予定)が就労移行支援サービスを行っています。

Q6 なにか手続きは必要なの?

A6 市役所健康福祉課障害社会係の窓口で申請が必要です。聞き取り調査の上、利用決定された後、事業所に登録され、訓練などが開始されます。(前年度就労していた人などは、利用負担が必要な場合があります)

Q1 どんなことをするところなの?

A1 ① 支援員があなたの状況や希望を聞き、就職するまでにどうしたらいいか一緒に考えてくれます。
② 就職のために必要な生活習慣や、社会人としてのマナー、面接の仕方などを教えてくれます。
③ 支援員と一緒に、企業内での職場実習を体験できます。作業やあいさつなど、支援員が見守りながら教えてくれます。
④ コミュニケーションの取り方や自分に合う仕事を見つけられます。
⑤ 自分に合う職場探しをしてくれます。支援員が企業にそれぞれの障害の特性を説明し、理解していただくための職場開拓をします。

Q2 いつまで支援してくれるの?

A2 就職できるまで、最長で2年間の支援が受けられます。

Q3 就職しても続けられるか不安です。

A3 就職した後も、職場に慣れて長く働くために、支援員が仕事の不安を聞いたりアドバイスをしたりします。

いざ! 実習!!

就労移行支援サービスを利用して、田川市白鳥工業団地内にある佃井上薫商店(佃煮の製造・卸し販売)でさまざまな実習に取り組み、「働きたい」と頑張っている若者たちを紹介しています。

接客の仕事がしたい

Aさん(10代女性)は、下肢の平衡機能に障害があり、真つすくに歩いたり、傾かないように物を運んだりすることが苦手です。高校卒業後、仕事をすることで人のために役に立つようになりたいと考え、事業所に登録。夢だったケーキ屋での実習も体験しましたが、柔らかいケーキをつまみつかむことや、トレイに乗せてまっすぐ運ぶことができず断念しました。そして実習を通して、やりたいた仕事とできる仕事は違うことを実感しました。

「仕事は難しいところもあるけど楽しい。中でも袋詰めが得意です。狭いところを歩いたり、品物を傾けずに運んだりする作業がやりにくい時などは、支援員さんや会社の人に相談しながら作業しています。人と話をすることが好きなので、将来は接客の仕事をしたいです」と洋装店などにもチャレンジしたいと、元氣よく話してくれました。

「実習での仕事は少し大変だけど、少し楽しい。今は、やりたい仕事とできる仕事は違うということとがわかり、就職するための訓練として、すべての仕事を頑張っています。将来は調理師として働きたいです。でも、それ以外の仕事も多少は視野に入れていまして」とハキハキと話すBさん(20代男性)は、希望する仕事は違う2人ですが、「働きたい」「就職したい」という思いは同じです。今回は、佃井上薫商店での実習を取材しました。が、ほかにも西鉄バスセンターや大衆演劇京都のほか、本人の希望する職種のお店や企業などに依頼して実習することもあるそうです。



▲コンテナふき作業の様子

実習生が嬉しい刺激に

実習先である佃井上薫商店の糸瀬サハラさんは、「こうだった制度があることを知らなかったのだから、熱心な就労移行支援事業所の人から話を聞き、協力したいと考えて実習の受入を決めました。それまで従業員が毎日やっている作業にまじめに丁寧に取り組んでもらい、本当に助かっています。特に忙しい日は、実習時間以外にも時給を払って作業をお願いすることもありますが、あいさつも元氣

にしてくれて、ベテランの従業員が多い中、いい刺激を受けています。事業所の支援員さんが常にそばにいてくれるので、これまでトラブルもなく安心して任せています」と話しました。

雇用側も、障害のある人がどんな仕事ができ、何を任せてよいの不安に思っているのが現状のようです。そのような中で、支援員が同行する職場実習は、安心して受入することができ、障害への理解と業務効率の上でもメリットが大きいようです。

まずは相談を

市では、障害者のみなさんの働く意欲を応援しています。また、一緒に応援して下さる実習受入先についても募っています。雇用主さん、お話だけでも聞いてみませんか? 詳しくは健康福祉課障害社会係に問い合わせ、または相談ください。

夢は調理師

広汎性発達障害と高機能自閉症

オストメイト対応トイレ付き多目的トイレが充実しています。

オストメイト対応トイレとは、人工肛門・人工ぼうこうを使用している人のための設備があるトイレです。

外出時など気軽にご利用ください。

設置場所	箇所数
田川市役所	1
田川市美術館	1
田川市民球場	1
田川文化センター	2
田川青少年文化ホール	1
ハローワーク田川	2
田川市中央隣保館	1

チャレンジ雇用

市では、平成23年4月からチャレンジ雇用を始めました。チャレンジ雇用とは、障害者を一般企業などの就職につなげるために、1年以内の期間を単位として、自治体で臨時職員などとして雇用する制度で、筑豊地区では2番目、田川地区では初めてのチャレンジです。現在、市民課に1人、健康福祉課に1人配属され、窓口での受付業務やパソコン事務などできることからチャレンジしています。また、障害者雇用促進委員会や就職活動実践セミナー、ハローワークや障害者就業・生活支援センターなどの支援も受けながら、就職活動にも同時にチャレンジしています。市もチャレンジ雇用にチャレンジしたばかりですが、今後も充実させていきたいと考えています。